

平成 27（2015）年さけます来遊状況（第 3 報：9/30 現在）

4 サケ年齢組成と体サイズ

国立研究開発法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- 北海道の 9 月末時点での年齢別来遊数を推定すると、4 年魚（2011 年級）が前年を上回るが 5 年魚（2010 年級）は減少
- 北海道の日本海側（オホーツク海区及び日本海区）では、4 年魚が 1994 年以降の平均的な水準を上回り、太平洋側（根室～えりも以西海区）でも 1994 年以降の平均的な水準に近い
- 両地域とも、5 年魚（2010 年級）は前年同期および 1994 年以降の平均を下回る
- 北海道のサケの平均重量は 3.54kg で、前年同期と同水準

・サケの年齢組成

北海道の河川に回帰したサケの年齢査定途中経過をもとに、9 月末時点における年齢別来遊数を推定したところ、4 年魚（2011 年級）が全体の 55% と最も多く、次に 5 年魚（2010 年級）が 37% を占めました。4 年魚は前年同期の 160% と前年を上回りましたが、5 年魚は前年同期の 73% あまりと減少しました。1994 年以降の平均との比較では、それぞれ 112% と 61% であり、5 年魚が過去の平均よりも少ない状況です（図 1）。

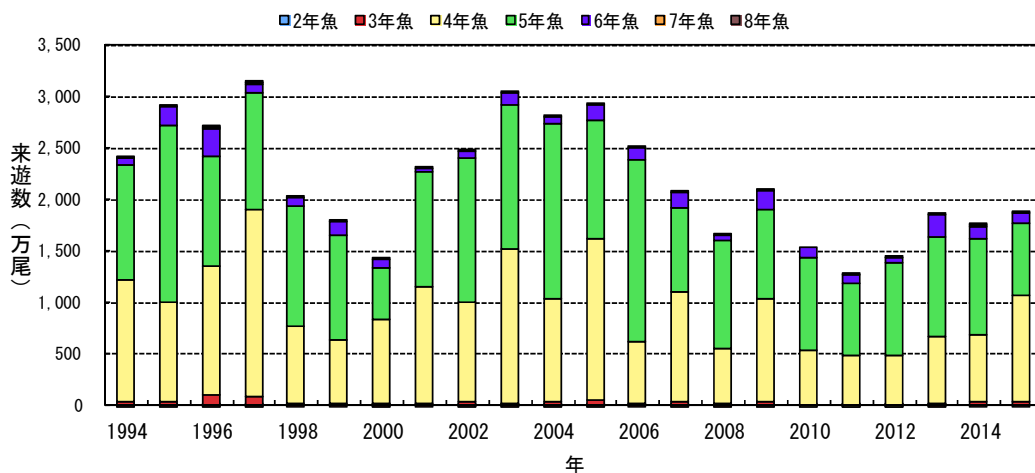


図 1. 9 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道）.

年級群（生まれ年）ごとの来遊数をみると、今年の4年魚である2011年級は、4年魚までの来遊数（2～4年魚の来遊数）で比べた場合、近年（1992年級以降）の平均を上回り、2003年級や2005年級に近い水準です（図2）。一方5年魚である2010年級は、1992年級以降では3番目の少なさとなっています。

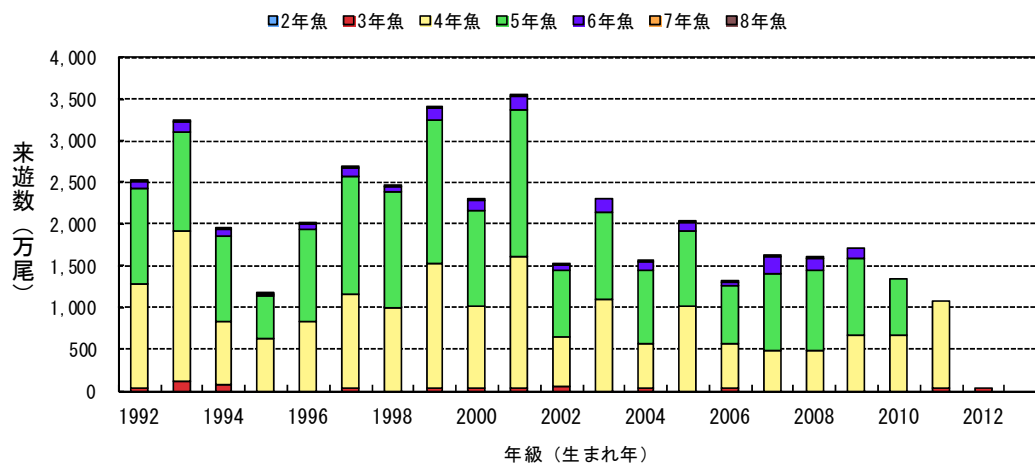


図2. 9月末時点のサケ年級群（生まれ年）別来遊数（北海道）.

地域別にみると、太平洋側（根室～えりも以西海区）では、4年魚が前年同期の241%となっており、近年（1994年以降）の平均値に近い水準ですが、5年魚は前年同期の59%、近年の平均値の47%と少なくなっています（図3）。一方、日本海側（オホーツク海区及び日本海区）の4年魚も近年の平均値の133%と良好な回帰ですが、5年魚は同平均値の76%あまりとなっています（図4）。また、太平洋側では3年魚（2012年級）が前年同期の150%、近年の平均値の169%と目立ちます。

なお、サケの年齢組成は来遊時期の初めの頃には5年魚や6年魚といった高齢魚の割合が高く、シーズンが進むにつれて3年魚や4年魚の割合が高くなる傾向があります。

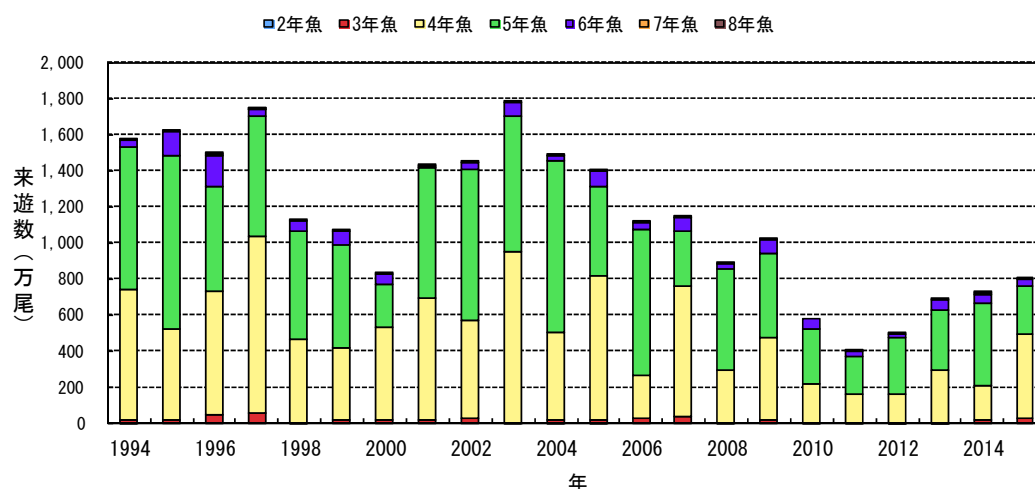


図3. 9月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道太平洋）.

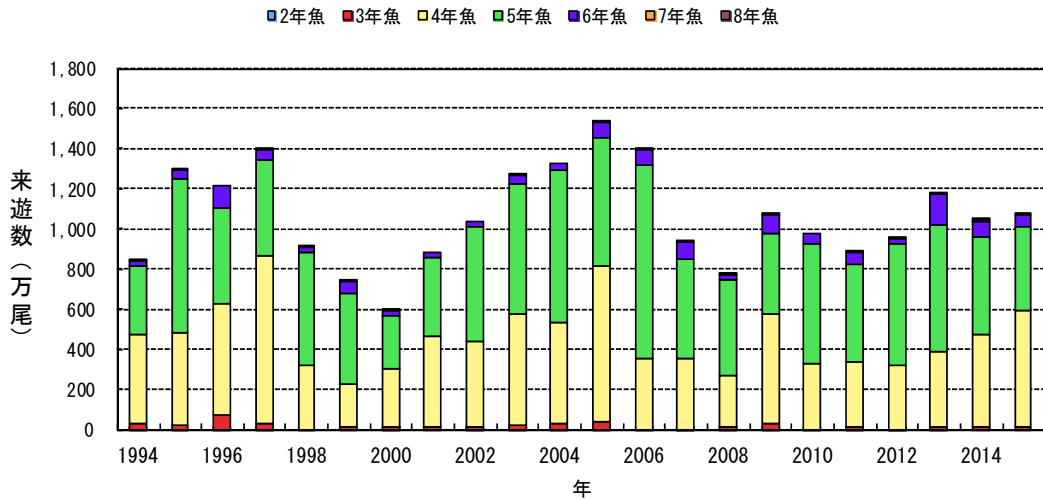


図 4. 9 月末時点のサケ年齢別来遊数（北海道日本海）.

・サケの体サイズ

北海道における 9 月 30 日現在のサケ 1 尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は 3.54kg であり、これは前年同期の 99%に相当します。平成元(1989)年～平成 26(2014)年の同時期（9 月末時点）における平均重量を比較した場合、今年の体サイズは近年では平成 21（2009）年～平成 23（2011）年および平成 26（2014）年に近い水準となっています（図 5）。

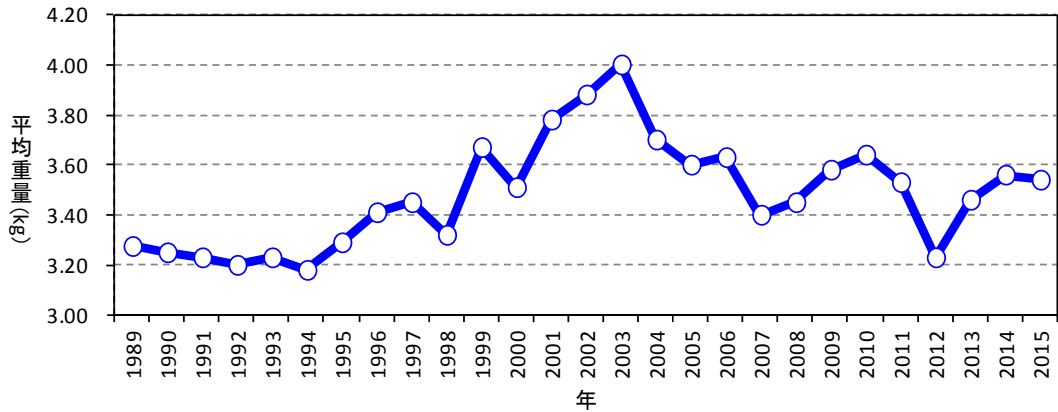


図 5. 9 月末時点のサケ平均重量（北海道）.